

平成25年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立上河内西小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であり、本校の教育活動へご協力いただくためには、一層「開かれた学校づくり」を推進し、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に、十分ご理解いただく必要があります。

そこで、平成25年度「全国学力・学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要及び指導の改善策等を公表し、学校・家庭・地域が一体となって「ひとりで・なかよく・たくましく」生きる「上西っ子」の育成を図る一助といたします。

I 調査の概要

1 目的

ア 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

イ 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

ウ 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査期日 平成25年4月24日（水）

3 調査対象 第6学年

4 本校の参加状況

① 国語A	31人	国語B	31人
② 算数A	31人	算数B	31人

5 留意事項

(1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意する必要がある。

(2) 教科ごとに「分類・区分別の傾向と課題」や「指導改善のポイント」などを記載した。

Ⅱ 調査結果の概要

1 国語

(1) 分類・区分別の傾向と課題

<話すこと・聞くこと>

- A 選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものとして適切なものを選択する設問について、スピーチの表現技法を適切に捉えることに課題がある。
- B 話し手の意図を捉えながら聞き、助言の仕方として適切なものを選ぶ力は、概ね身に付いている。

<書くこと>

- A 文と文の意味のつながりを考えながら、接続詞を使って1文を2文に分けることに課題がある。
- B 目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書くことに課題がある。

<読むこと>

- A 編集の特徴を捉えることや、俳句の情景を捉えることに課題がある。
- B 推薦文を読み比べて、推薦している対象や理由を捉えたり読み方の違いを捉えたりすることに課題がある。

<伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項>

- A 漢字やことわざ、接続語等の習得に課題がある。
- B 必要な内容を適切に書き加える力は、概ね身に付いている。

(2) 国語に関する児童質問紙調査の状況

国語に関するすべての質問について、肯定的な回答の割合が高い。特に、「国語の授業の内容はよく分かる」、「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている」、「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」、「国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気をつけて書いている」、「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりに内容を理解しながら読んでいる」という質問について、肯定的に回答している児童の割合が高い。

(3) 指導・改善のポイント

<話すこと・聞くこと>

- 話すことの指導では、目的や意図に応じ、自分の立場や結論を明確にした上で、全体の構成や表現の工夫を考えられるようにするとともに、事実と感想や意見を区別しながら説明したり報告したりする学習活動を、意図的・計画的に行う。
- 話す・聞く能力を育むために児童が自らの思いや意見を伝え合う機会を多くする。

<書くこと>

- 書く能力を育むために、自分の思いや考えを伝えたり、ある事柄について報告したりする文章を、本や新聞、パンフレットなどに書かれている文章を参考にしながら書く学習活動を、意図的・継続的に行う。

<読むこと>

- 読解能力を育むために、登場人物や作品の構造、表現や叙述に即した読みの指導や同じ作者や同じ題材の作品を比べて読む並行読書を取り入れた指導など、効果的な読み方の理解や読書活動の充実を図る。

<伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項>

- 漢字を正確に読み書きできるようにするために、読み仮名を正しく表記して発音することができるようにするとともに、点画の間違いやすい部分に注意して正確に書くように指導する。
- 学習した語句を確実に定着させるために、習得した語句を文や文章の中で進んで適切に使うよう、日常生活の中でも確認しながら継続的に指導する。

<その他>

- 国語の授業で育成した言語能力を日常生活の中で活用できるように、児童の実態を踏まえた適切な質と量の宿題を継続的に与え、確実にこなせるようにする。

Ⅱ 調査結果の概要

2 算数

(1) 分類・区分別の傾向と課題

<数と計算>

- A 小数の乗法の計算や示された位までの概数を求める力は、概ね身に付いている。
- B 情報を整理し全ての条件に該当する乗り物を判断したり、単位量あたりの大きさに着目し2つの数量の求め方を記述したりする力は、概ね身に付いている。

<量と測定>

- A 単位量あたりの大きさを求める除法の正しい式を選ぶことや、台形の面積を求めることに課題がある。
- B 長方形の分割の仕方について説明することや、長方形と台形の分割の仕方を比べて台形の場合は4等分にならない理由を説明することに課題がある。

<図形>

- A 合同な三角形の作図の条件や円柱の見取り図から高さを求めることや、円柱の展開図から側面の長方形の辺の長さを求めることに課題がある。
- B 「量と測定B」と同様の課題がある。

<数量関係>

- A 棒グラフから数値を読み取る力は、概ね身に付いている。
- B 棒グラフと折れ線グラフ2つのグラフから数値を読み取ることに課題がある。

(2) 算数に関する児童質問紙調査の状況

算数に関するほぼ全ての質問において、肯定的な回答の割合が高い。特に、「算数の勉強が好き」、「算数の授業の内容はよく分かる」、「算数の授業で新しい問題に出会ったときそれをといてみたいと思う」、「算数の問題の解き方が分からないときは諦めずにいろいろな方法を考える」、「算数の授業で問題を解くときもっと簡単な方法がないか考える」、「算数の授業で公式やきまりを習うときそのわけを理解するようにしている」という質問について、肯定的に回答している児童の割合が高い。

(3) 指導・改善のポイント

<数と計算>

- 繰り上がりのある減法や小数の加法の計算など基本的な計算の中で適切に処理できるよう慌てず焦らず正確な計算を心がけるよう日々の学習指導をさらに充実していく。
- 商が小数になる除法の計算や分数の乗法の処理に正確さが足りないので、上記同様、基本的な計算を正確に行えるよう学習指導をさらに充実させていく。

<量と測定>

- 単位量あたりの大きさを求める除法の式の意味を理解できるようにするために、数直線や面積図を用いて視覚的に式と商との関係を考える活動を取り入れたり、板書において単位を式に加えて示したりするなど指導を工夫する。

<図形>

- 円柱の底面の円周の長さや展開図の側面の辺の長さなどが対応していることなど、立体図形の構成要素の関係を理解できるようにするために図形を手に取り、観察して特徴を捉える活動や見取り図と展開図を描いて、辺と辺、辺と面、面と面とのつながりや位置関係を調べる活動のさらなる充実を図る。
- 統合的・発展的な図形の見方を育てるために、一つの図形で発見した事実が他の図形でも当てはまるかどうかを判断したり、その事実がどのような場面で成り立つかを調べたりする活動を取り入れる。

<数量関係>

- 表から数値を適切に取り出して二つの数量の関係が比例の関係であるかを考察し、数と言葉を用いて記述できるようにするために基準となる表の数値を設定し、対応や変化の規則性を説明する活動の充実を図る。

<その他>

- 様々な事象を関連付けて説明する力を育むため問題解決におけるノート指導の更なる充実を図る。
- 基本的な計算の確実な定着を図るために、個に応じた指導の充実を図る。

3 児童質問紙調査結果の状況

<肯定的回答の割合が高い項目>

「毎日同じくらいの時刻に寝ている」

「毎日同じくらいの時刻に起きている」

「家の人と将来のことについて話すことがある」

「家や図書館で読書をする」

「家の手伝いをする」

「家で自分で計画を立てて勉強している」

「家で学校の授業の予習をしている」

「家で学校の授業の復習をしている」

「今住んでいる地域の行事に参加している」

「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」

「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」

「学校のきまりを守っている」

「友達が悪いことをしたときは注意する」

「普通の授業では本やインターネットを使ってグループで調べる活動をよく行っている」

「普通の授業では自分の考えを発表する機会が与えられている」

「普通の授業では学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている」

「普通の授業でははじめに授業の目標が示されている」

「普通の授業では最後に学習内容を振り返る活動をよく行っている」

<肯定的回答の割合が高いとはいえない項目>

「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である」

「友達に伝えたいことをうまく伝えることができる」

「普段テレビやビデオ・DVDをよく見たり聞いたりする」

「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しい」

「学校の授業などで自分の考えを他の人に説明したり文章に書いたりすることは難しい」